

(様式第2号)

福祉サービス第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

有限会社アウルメディカルサービス

②施設・事業所情報

名称：やまなみ	種別：就労継続支援A型・就労定着支援	
代表者氏名：鳥居 衛	定員（利用人数）：20（30）名	
所在地：岡山県高梁市中原町1472-3		
TEL：0866-21-2320	ホームページ： https://nozomi-okayama.org/service/yamanami/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 平成25年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：特定非営利活動法人のぞみ		
職員数	常勤職員：10名	非常勤職員：3名
専門職員	管理者 1名	（生活支援員）1名（常勤換算）
	サービス管理責任者 1名	管理栄養士 0名
	（医師：嘱託）0名、（看護師）0名	
施設・設備の概要	居室0室 （個室0室・2人部屋0室・4人部屋0室）	

③理念・基本方針

理念：
地域を愛する特定非営利活動法人のぞみは、「ひとりひとりの豊かな生活の実現」を目指します。
2023年度基本方針：
一人ひとりの力を集め、皆が同じ方向をむいて前に進む。
実践目標：
①夢を持とう。
②何事にも興味を持とう。
③まずやってみよう。
④疑問に思ったら解明しよう。
⑤その日の事はその日に済ませる。

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・ 作業収入確保の為に自主事業を中心に展開。（弁当の製造販売、豆腐料理専門店の営業）
- ・ 製造商品、飲食店での提供料理は「身土不二」にこだわり、地元の食材を使用し、他では味わえない料理、弁当を提供することで広域集客、販売 をしている。
- ・ 利用者の能力や障害の度合いに適応出来るように、作業の多様化を行い個別に細かい支援を行っている。
- ・ A型事業所の行う範囲にとどまらず利用者さんの勤務がやりやすいように支援をしている。（送迎など）

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 6 年 2 月 1 6 日（契約日） ～ 令和 6 年 3 月 3 1 日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（ 令和 年度）

⑥総評

◇特に評価が高い点

地域の豆腐店との契約によりメインの弁当事業に積極的に取り組んでいる。豆腐や大豆にこだわった地産地消のメニューを中心に、お米も地元である備中産を使用し、利用者が調理しやすくバランスの取れた内容となるように数年かけて作り上げた。地域の方々にも提供できるように、事業所内の販売店だけでなく、高梁市内にレストランを設け、近隣の道の駅やJAの直売所でも弁当を販売している。管理者は、職員の能力や状況に応じて、体育館の清掃とスーパーの配送センターの仕分け業務にも従事して頂き、適材適所の環境となるように配慮している。就労後のフォロー体制もあり、利用者は安心して次へのステップができています。利用者は挨拶や作業中のルール保持ができており、社会に出ていくための準備が整えられている。今後、大豆栽培や、新たなる事業の開拓が検討されており、A型事業所としての更なる躍進が期待できます。

◇改善が求められる点

短期目標は作成され取り組んでいます。中期目標を更に検討作成し事業促進に向けて進めることを期待します。来年度は” 利用者 の出勤率を上げる”、” メイン事業の弁当のボリュームアップを図る” 事の実現に向け事業計画の更なる検討をお願いします。職員 に対しては、質の向上を目指す方法の一つとして、個人目標を立てて自己を見直す機会を持つようにしてはいかがでしょうか。利用者 に対しては、満足度を高める為に、利用者アンケートの実施を行い、思いの把握を明確化してみたいとは思っています。外部に 関しては実習生の受け入れは可能としていますが、マニュアル作成に取り組み体制の確立に向けて取り組んでほしいと思います。BCP策定の義務化に伴い、事業所としても備蓄準備の充実を期待します。利用者のコミュニケーション能力の向上に向け、レクリ エーション活動等を通じて改善に努めるようにしてください。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

お弁当の製造販売、飲食店の営業を通じて地域とのつながりや協力体制をもっと強くする必要があると感じた。地域での課題や問題に我々の事業所がもっと役立てるような活動を行えればと思う。

利用者さん一人一人の状態に応じた支援がもっと手厚く行えるように、また様々な事例に対し柔軟に対応できるように職員の能力アップが必要と思えた。

今後も高梁市で唯一のA型事業所として存在意義のあるものにしてゆきたい。

⑧第三者評価結果（別紙）

(別紙)

障害者・児施設

第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
Ⅰ-1-(1)-①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	○a・b・c
<コメント> 理念は毎日の朝礼で職員、利用者全員で唱和している。理念は所内と雲白作業所などにも掲示しわかるようにしている。理念は玄関や事務所、多目的室に掲示してある。年ごとに実践目標と基本方針を策定して取り組んでいる。朝礼で元気よく職員と利用者が唱和している姿を目の当たりにした。		

Ⅰ-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
Ⅰ-2-(1)-①	事業経営を取り巻く環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	○a・b・c
<コメント> A型協議会の研修会へ参加して、情報を収集している。毎月開催される法人の管理者会議や経営会議で分析し、確認できている。高梁市のアンケート調査にて実態の把握もできている。		
Ⅰ-2-(1)-②	経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	○a・b・c
<コメント> 税理士による財務諸表を参考にし、経営状況を分析して、事業所の課題を協議している。決定事項は各事業所管理者に周知している。事業所内でのミーティングにて行動目標を立案した。経営状況を把握した上で、年間目標を作成して、運営の方針や生産活動の確認を行った。		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。		a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>中・長期的な計画は作成していないが、単年計画は作成されている。理念の実現に向けての事業計画や財務的な課題については、理事や役員間で話し合っている。報酬改定後に目標を明確に定めて、今後、取り組めるように計画中である。</p>		
I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。		a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>単年度事業計画は事業所の指定基準を満たせるように、目標策定をしている。前年度の状況に合わせて、具体的な行動に結びつけることができるように考慮している。来年度は、利用者の出勤率を上げる、飲食やお弁当のボリュームを増やすことを目標として掲げた。</p>		

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。		a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>毎週、職員ミーティングを開催して、進捗状況を確認している。法人本部では、毎月の管理者会議にて、報告並びに次月に向けての計画を確認している。作業が難しい利用者へは、できることを探して、より良い環境となるように配慮している。</p>		
I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。		a・b・(c)
<p><コメント></p> <p>モニタリング時や朝礼・終礼時に、何かあれば伝えるようにしている。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
I-4-(1)-①	福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	○a・b・c
<p><コメント></p> <p>事業所サポートセンターを設置し、運営に関してのチェック項目を参考にしている。定期的に巡回されるセンター長にて評価をして頂いている。不足な部分がある場合には、早急に改善できるように取り組んでいる。前回の評価を基に、欠席時の書類や職員の勤務形態一覧表、行政に提出書類の見直しを行った。</p>		
I-4-(1)-②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	○a・b・c
<p><コメント></p> <p>改善項目があれば、ミーティングにて情報を共有し、管理者やサービス管理責任者、賃金向上達成委員会を中心に具体的な改善を模索している。年末年始の5日のみが事業所の休業日だったが、今後は他にも休業日を設けるように変更した。また、年1回レクリエーション活動にも取り組んでいる。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
Ⅱ-1-(1)-①	管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	○a・b・c
<p><コメント></p> <p>理念や基本方針について周知し、方向性を統一できるように取り組んでいる。2名の利用者が同じアパートで暮らしていて、生活面においては、管理者を中心にフォローしている。利用者同士の組み合わせについても配慮している。また、何かあれば朝礼や終礼時に伝えるようにしている。</p>		
Ⅱ-1-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	○a・b・c
<p><コメント></p> <p>研修会へ参加して意識を高めている。管理者間の情報共有を大切にしている、何かあれば協議している。不明な点があれば、県民局や行政に問い合わせ、その都度確認している。</p>		

Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。		○a・b・c
<p><コメント></p> <p>職員ミーティングでは、利用者の状態・取り巻く環境や情報の確認を行い、全員で対応や協議をしている。2名の利用者が同じアパートで暮らしていて、生活面においては、管理者を中心にフォローしている。利用者同士の組み合わせについても配慮している。また、何かあれば朝礼や終礼時に伝えるようにしている。</p>		
Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。		○a・b・c
<p><コメント></p> <p>課題が見つかった際には、事業所内の職員全員で解決できるように話し合っている。また、難しい事例の場合には、法人本部と連携して解決できるようにしている。</p>		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。		○a・b・c
<p><コメント></p> <p>必要に応じて、人材確保に努めている。また、権利擁護や虐待・身体拘束の外部研修にも参加して、意識を高めている。法人内でも虐待・身体拘束の研修も実施できた。</p>		
Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。		○a・b・c
<p><コメント></p> <p>法人内部では、「社員心得」の資料を参考に指導している。事業所内での人材配置は、職員の能力を把握した上で、管理者を中心に適材適所に配置している。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。		○a・b・c
<p><コメント></p> <p>相談窓口は管理者が中心となっている。土日の職員の配置についての相談があり、人数調整を行った。また、有給休暇の取得や連休が取れるように調整し、ワーク・ライフ・バランスが確立されている。</p>		

Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>職員一人ひとりが、働きやすいように目標設定を行っている。職員からは、「定年まで働きたい」との声が挙がり、目標に向けて取り組んでいる姿勢が窺えた。また、今後は個人目標を明示できるようにする予定である。</p>	
Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>年間の研修計画に基づき実施している。特に虐待防止に関しては重点を置き、チェックリストにて振り返りの場を設けている。社員心得を参考にし、各事業を行う上での指針としている。</p>	
Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>ZOOM研修では、定着支援や賃金向上に関しての学びを深めた。外部団体主催の研修（農福連携）にも積極的に参加して、業務の向上に役立っている。研修内容はミーティングにて、報告し情報共有を図っている。法人内で月1回、マーケティングコンサルタントを外部講師として招き、質の向上を目指している。</p>	
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	
Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・b・(c)
<p><コメント></p> <p>実習生の問い合わせは随時可能としているが、受け入れ体制は整っていない。</p>	

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。		○a・b・c
<p><コメント></p> <p>ホームページやSNSを活用し、情報公開や各事業所の活動内容を紹介している。また、法人のパンフレットや事業所の広報誌を各店舗に置いて、自由に閲覧できるように工夫している。</p>		
Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。		○a・b・c
<p><コメント></p> <p>税理士や社労士と業務契約して、経営状況を把握できるようにしている。また、外部監査役を配置して、理事や役員が適正な業務が行えているかどうかの確認もできている。法人内で月1回、マーケティングコンサルタントを外部講師として招き、質の向上を目指している。</p>		

Ⅱ-4 地域との交流と連携・地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
Ⅱ-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。		○a・b・c
<p><コメント></p> <p>地域で開催される就職説明会やイベント、他事業所の催事を事業所内に掲示して、朝礼で案内を促している。ハローワークの求人情報を毎月更新して利用者が自由に閲覧できるように工夫している。事業所近辺の清掃を行って、顔を合わせた方とは挨拶を交わす関係が形成されている。お弁当の販売や配達も行っている。</p>		
Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。		a・○b・c
<p><コメント></p> <p>中高生の職場体験は受け入れ可能としている。利用者の畑を借りて、さつまいもを収穫した。来年は大豆を栽培する予定である。また、実習生の受け入れ体制マニュアルは今後作成予定である。</p>		

Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
Ⅱ-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。		a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>高梁市自立支援協議会就労部会に所属していて、毎月1回部会へ出席している。相談事業所とは連携を図り、利用者の現在の状況を把握し、情報共有をしている。目安箱の投函があれば、職員会議で内容を協議している。何かあれば利用者と相談する機会を設けている。</p>		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。		a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>高梁市が主催する健康福祉の集い、はたらくマーケットの他、高校の支援学校を中心とした地区別懇談会に参加して、事業所のPR活動にも繋げている。地域連携拠点事業の勉強会にも参加して、福祉の現状や課題を把握している。現在、福祉サービスを受けていない方が多くいるのが現状である。</p>		
Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等に基づく公益的な事業・活動が行われている。		a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>利用者の住居として、アパートの空き部屋を探したり、法人で借り上げて入居するために必要な手続きを行ったりして、障害のある方でも自立して生活出来るように、大家さんと連携して見守り体制を敷いている。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。		(a)・b・c
<p><コメント></p> <p>一人ひとりが心身・経済的にも豊かになれるように個々の状況に応じてサービスを提供するように心掛けている。利用者の特性に応じて送迎をしたり、作業時に職員が隣について出来るように指導したりしている。</p>		
Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供が行われている。		(a)・b・c
<p><コメント></p> <p>利用者の個人ファイルは施錠できる棚で保管し、誰もが閲覧出来ないよう配慮している。休憩時にリラックスできるように、休憩場所を複数設けて一人ひとりに合わせた、休憩方法を取っている。入職時に、重要事項説明書にて家族にも説明し、ホームページに写真をアップする場合には、承諾を頂いている。</p>		

Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。		○a・b・c
<p><コメント></p> <p>見学は随時受け入れ可能としている。見学の際には、希望者の要望に合わせて日程を調整し、管理者が対応している。パンフレットは店内や飲食店に置いてあり、職員が随時手渡しにて配布することもある。</p>		
Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更に当たり利用者等にわかりやすく説明している。		○a・b・c
<p><コメント></p> <p>サービス内容に変更あった際には、書面にふりがなを付けてわかりやすいように工夫している。家族へは必要に応じて訪問したり、電話連絡にて説明している。利用者本人への説明が難しい場合には、保護者や保証人の方に伝えるように配慮している。</p>		
Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等に当たり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。		○a・b・c
<p><コメント></p> <p>サービスが終了した際には、利用者本人や家族に対して、管理者より相談方法の説明を行っている。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。		a・○b・c
<p><コメント></p> <p>何かあればその都度個別にて対応し、意見を聴取している、利用者からの意見は、職員間で共有して、職場環境の改善に努めている。今後は利用者アンケートを実施する予定である。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。		a・○b・c
<p><コメント></p> <p>苦情やトラブルに関しては、マニュアルを作成している。意見箱の投函内容や個別の相談については、ノートに記録して振り返られるようにしている。相談や苦情内容については職員ミーティングにて話し合い、事実確認や対応策を決定している。</p>		

	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a · (b) · c
<p><コメント></p> <p>利用者が相談しやすいように、1対1でゆっくり話を聞く場を設けている。</p>		
	Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a · (b) · c
<p><コメント></p> <p>利用者から管理者や職員に相談した際には、記録に残して全体で共有できるようにしている。対応策や事業所全体でのルールについては、個人を特定することなく、朝礼や終礼時に全員に伝えて周知している。</p>		
<p>Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。</p>		
	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	(a) · b · c
<p><コメント></p> <p>管理者が中心となって対応している。自然災害時については、担当者を決めているので組織的に動けるように努めている。刃物を持っている場合には、「包丁通ります」と言葉を掛けて安全面に配慮している。</p>		
	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a · (b) · c
<p><コメント></p> <p>法人本部を主体として、感染症発生時の対応マニュアルを整備している。事業所内では、マスクや帽子の着用、アルコール消毒は常時実施している。</p>		
	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	a · (b) · c
<p><コメント></p> <p>災害時における避難計画書は行政に報告し、避難場所のアドバイスを頂いた。避難訓練を実施して、職員の役割分担や動き方などの確認もできた。備蓄リストを作成していて、今後のために準備を進めている最中である。災害訓練時には、連絡網を回す訓練も実施し、避難経路は、多目的室に掲示している。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(1)-①	提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	○a・b・c
<p><コメント></p> <p>運営規定に明記している。必要に応じて内容の変更や追加事項の確認を行っている。また、変更時には県民局への報告も行っている。</p>		
Ⅲ-2-(1)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	○a・b・c
<p><コメント></p> <p>管理者による会議にて、議案として取り上げて、現状にそぐわない事や不足部分については適宜見直している。利用者が焦って失敗ないように、体調管理から見直した事例もある。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-2-(2)-①	アセスメントに基づく個別支援計画を適切に策定している。	○a・b・c
<p><コメント></p> <p>アセスメントに関しては、サービス管理者を中心に作成している。毎週の職員ミーティングにて、支援計画について見直しを行っている。短期計画が3ヶ月、長期計画が6ヶ月でモニタリングも実施できている。</p>		
Ⅲ-2-(2)-②	定期的に個別支援計画の評価・見直しを行っている。	○a・b・c
<p><コメント></p> <p>何かあればその都度、会議を開いて確認をしている。短期計画が3ヶ月、長期計画が6ヶ月でモニタリングも実施できている。</p>		
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	○a・b・c
<p><コメント></p> <p>個人記録は統一した様式を使い、記載内容のチェックは管理者とサービス管理者、現場責任者で確認をしている。身体状況は出勤時に健康チェック表を用いて確認している。健康状態は、本人からの申し出や職員の観察により作業ができるかどうかを判断している。</p>		

Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>施錠できる場所に保管している。閲覧する場合は、管理者の許可を得ている。個人情報の取り扱いは、重要事項説明書にて、利用者本人と家族に説明している。職員とは、雇用契約時に秘密保持の誓約書を交わし、当該利用者が不利益を被らないようにしている。</p>	

評価対象Ⅳ 具体的なサービス内容

Ⅳ-1 利用者の尊重と権利擁護

		第三者評価結果
Ⅳ-1-(1) 自己決定の尊重		
	Ⅳ-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>利用者の活動が同一にならないよう、多様な作業ができるように配慮している。作業具合や利用者からの意見を参考にして、やりたい作業ができるようにシフト調整をしている。ほとんどの利用者が希望する部署へ配置されている。</p>		
Ⅳ-1-(2) 権利侵害の防止等		
	Ⅳ-1-(2)-① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>権利擁護や虐待防止の外部研修を受けた。法人内では、虐待防止委員会を設置して、研修や職員へ周知をしている。普段の言動や態度、利用者への接し方にも配慮している権利侵害や虐待と見受けられる事象があった際には、管理者への報告を徹底している。発語が少ない利用者へは、家族への聞き取りを行い、解決できるように取り組んでいる。</p>		

Ⅳ-2 生活支援

		第三者評価結果
Ⅳ-2-(1) 支援の基本		
	Ⅳ-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>スポーツなど趣味活動へ参加している利用者へは、練習や遠征試合の日程に合わせて、有給や振替休日が取れるように配慮している。法人内で契約しているアパートを利用者に貸し出し、生活支援にも努めている。</p>		

	IV-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>コミュニケーションが取りづらい利用者へは、家族と連絡を取り、家庭での様子を確認している。コミュニケーションが高められるようにレクリエーション活動を実施する予定である。入職後に様々な活動を通じて、コミュニケーション能力が徐々に高まって来ている。</p>		
	IV-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>就業中に時間を取って個別面談を実施している。面談の目的を明確にして話し合いを行っている。その時の発言を大切に、本人からの要望を聞き取っている。昼休憩時間を活用して、本人の様子や関心のある話題を提供して、コミュニケーションを図っている。何かあれば1対1で話すこともある。</p>		
	IV-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>本人の目標や意向を把握している。地域での催し案内がある場合には、事業所内に掲示して情報提供をしている。3名の利用者がポッチャの大会に出場して、1回戦を突破できた際には、満面の笑みを浮かべていた。高梁市のひな祭りやお弁当マルシェ、鉄道のおもてなしイベントにも参加できた。</p>		
	IV-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>行動障害の利用者は在籍していない。精神障害に関しては各障害の特性に考慮し、関係機関と連携して、職員間で理解を深めている。就業支援センター、ハローワークと連携をして、一般就労をする時の注意点の共有もできている。利用者の特性を考慮した上で、適材適所に配置して、職員は適切な言葉掛けを行っている。</p>		
IV-2-(2) 日常的な生活支援		
	IV-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>非該当</p>		

IV-2-(3) 生活環境		
IV-1-(3)-①	利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a・b・c
<コメント>		
非該当		
IV-2-(4) 機能訓練・生活訓練		
IV-2-(4)-①	利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	a・b・c
<コメント>		
非該当		
IV-2-(5) 健康管理・医療的な支援		
IV-2-(5)-①	利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a・b・c
<コメント>		
非該当		
IV-1-(5)-②	医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	a・b・c
<コメント>		
非該当		
IV-2-(6) 社会参加、学習支援		
IV-2-(6)-①	利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a・b・c
<コメント>		
非該当		

IV-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援		
IV-2-(7)-①	利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>3名の利用者がボッチャの大会に出場して、1回戦を突破できた際には、満面の笑みを浮かべていた。高梁市のひな祭りやお弁当マルシェ、鉄道のおもてなしイベントにも参加できた。多目的室にイベント案内を掲示して、利用者の参加を促している。</p>		
IV-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援		
IV-2-(8)-①	利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>何かあれば随時連絡を取ったり、お便りを配布したりして情報の共有をしている。状況に応じて、家庭での様子を聞くこともある。</p>		

IV-3 発達支援

		第三者評価結果
IV-3-(1) 発達支援		
IV-3-(1)-①	子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>非該当</p>		

IV-4 就労支援

		第三者評価結果
IV-4-(1) 就労支援		
IV-4-(1)-①	利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	○a・b・c
<p><コメント></p> <p>利用者の障害に応じて、可能な働き方を提供するようにしている。利用者同士と一緒に作業することが困難な場合は、作業場所を分けるようにしている。言葉使いや態度などで不適格なところはがあれば随時注意している。朝礼や終礼で目標や結果報告をして、達成感を味わって頂いている。</p>		
IV-4-(1)-②	利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	○a・b・c
<p><コメント></p> <p>勤務時間や作業内容は、職員会議にて決定している。現状の仕事内容が適さない場合には、できるだけ適した作業へ配置転換するようにしている。賃金については、最低賃金を支払っているが、収入増を望む利用者には勤務時間を増やしたり、皆勤で手当をつけたりして、やる気を高めて頂いている。</p>		
IV-4-(1)-③	職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	○a・b・c
<p><コメント></p> <p>弁当の製造販売や飲食店を中心に自主活動を行う企業との関係を作っている。障害者雇用の考えや今後の取り組みについての確認もできている。企業訪問や見学ができるように、ハローワークや高梁市障害者就業・生活支援センター(なかぼつ)と連携を取っている。企業担当者とも連携して月1回、定着支援の機会を作っている。今年度は2名の就労にも繋がった。</p>		